

平成 3 0 年

第 2 回（6 月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通告者	11番 太田 一彦 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 観光事業について</p> <p>現在、西ノ原を中心とする地域が観光スポットとして、県内外から注目されており観光客も年々増加している。</p> <p>その中心となる国の登録有形文化財である旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂（以降、波佐見講堂という。）と福重邸を中心とした工場跡の建物は、本町観光事業の宝である。</p> <p>今後さらに誘客増が見込まれると考えられる。そこで以下のことについて問う。</p> <p>(1) 波佐見講堂を生かした活性化策をどのように考えているか。</p> <p>(2) 波佐見講堂周辺の整備について、危険道路の改修や景観整備などをどのように行うのか。</p> <p>特に、安全確保のための道路整備や新たな横断歩道の設置などは急務であると思うがどうか。</p> <p>(3) 波佐見講堂を核としたまちづくりを考える人たちが、「波佐見講堂・まちづくり協議会（仮称）」の準備委員会を立ちあげられた。</p> <p>今後、九州の中で最も注目される観光地になりうる地区である。新たに拡幅、付け替えられる県道沿いの街並みをどう創造するかが課題である。</p> <p>そこで、「住民と行政による協働のまちづくり」を目指し、この協議会に町や県の担当者も一緒になって、話し合いに参加してもらう必要があると思うがどうか。</p> <p>2. 窯業人材育成事業について</p> <p>(1) 現行制度の検証は行っているのか。反省点や改善策はないか。</p> <p>(2) 今年度で3年目を迎え第1クールが終了する。次のクールに向けての計画はどうなっているか。</p>		

通告順位	2	通 告 者	1 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. インターネットを活用した情報発信について</p> <p>本町のウェブサイトは3月末にリニューアルされて、スマートフォンでも閲覧しやすい環境となった。しかしながら、更新後も欲しい情報に辿り着けないという閲覧者からの声が寄せられている。</p> <p>(1) ホームページリニューアル後、現在までの閲覧状況を具体的に問う。</p> <p>① ページへのアクセス元は検索エンジン、お気に入り、SNSなどはどのような割合か。</p> <p>② 1日平均のアクセス人数、月単位のアクセス総数、4月以降のアクセス増減は。</p> <p>③ 訪問者の属性として年代、性別、地域はどうか。また新規訪問者・リピーターの割合は。</p> <p>④ ページへの検索キーワード、サイト内上位閲覧ページ、サイト内検索キーワードについて主なものは。</p> <p>(2) ホームページの更新頻度、更新体制はどうか。</p> <p>(3) 各種SNSとの情報連携、観光協会など外部との情報共有はできているか。</p> <p>(4) ホームページ更新後、町民および閲覧者からどのような意見が寄せられているか。</p> <p>(5) 各種ガイドブック、広報誌、チラシなど紙媒体の電子データの提供をさらに進めるべきではないか。</p> <p>2. 第9次基本計画の課題点および次期計画の注力点について</p> <p>平成25年に「第5次波佐見町総合計画」が策定され、平成34年度までの10年間この構想に沿ったまちづくりが進められている。平成29年度までを前期として「第9次波佐見町基本計画」が進行し、この振り返りを元に今年度「第10次波佐見町基本計画」が策定され、各施策が今後実行される。</p> <p>(1) 昨年度までの基本計画実施にあたり、各分野にて挙げられた主な課題点は。</p> <p>(2) 今年度からの基本計画について、現状を踏まえてどういった点が見直されたのか。</p> <p>(3) 基本構想の根底となる人口推計が現状と乖離しているが、総合計画遂行</p>		

にあたっての問題点は。

3. 町長在任5期20年を振り返り、その成果と課題について

5期20年に渡る町長職の執行に当たっては、国の方針の変化、社会的環境の変化など様々な要因があり、対応に苦慮されたものも多いと察する。これまでの課題を振り返り、改めて将来への展望を確認したい。

- (1) 20年間を振り返り、特に困難であったと感じる課題は何か。
- (2) 念願であった町営工業団地の完売、交流人口100万人達成など多くの目標達成が成し遂げられたが、将来にわたって取り組むべきと考える課題は何か。
- (3) 旧中央小学校講堂兼公会堂、歴史文化交流館（仮称）など直近の本格的に実施される事業を踏まえ、大きく拡大した交流人口を、今後どのように町発展に生かすべきと考えるか。

質問の相手

町 長

通告順位	3	通告者	8番 石 峰 実 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 日常生活での学童や高齢者を守るための交通安全確保対策について</p> <p>日常生活において、高齢者や子どもたちの通学歩行や車との離合など、道路通行上とても危険性の高い所が散見され、町民の安全確保策を講じる必要がある。特に児童・生徒が通行する万年橋交差点や波佐見高校裏手の三差路などにおいては一般車両とともにダンプカーやトレーラーなどの大型車の通行が頻繁である。登下校路の変更・改善や大型車の通行規制などの手段を検討・協議し、大きな事故を未然防止する対策を早急に講じるべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 高齢者や買い物弱者のための生活環境整備の充実について</p> <p>運転免許証返納者や買い物難民などの毎日を支えるシニアサポートサービス制度を確立し、一人暮らしや高齢者世帯が安心安定した日常生活が過ごせるようサポートする対策として次の点について問う。</p> <p>(1) 運転免許証返納者に対し、安全で利便性のある生活のために、シニアカーいわゆる電動車いすなどの貸付や購入の助成支援制度が考えられないか。</p> <p>(2) 高齢者や買い物弱者のための対応として、宅配や買い物代行サービスなどがあるが、商工会などとの連携のもと、町内での移動販売車の導入や運営に対する行政支援を研究することについてはどうか。</p> <p>3. 町民や本町への来訪者などに喜びや感動を与え、賞賛される施策の推進について</p> <p>町内の環境保全と美化の取り組みや観光活性化につなげる活動の気運が高まる中で、町の活性化や豊かな自然を後世の子どもたちに引き継ぐために、更なる意識高揚策を図るような働きかけが必要ではないか。</p> <p>(1) 公衆が広く利用する道路・公園や観光施設などにおいて、自発的に地道な環境美活動などに汗を流している個人、団体の「チョイボラ精神」による善行を讃える一策を設けてはどうか。</p> <p>(2) 今春、桜花爛漫の時期には例年になく人出が多かったが、桜つつみロード及びその周辺施設にもっと名所旧跡などの案内サインを整備充実し、多くの来訪者に喜んでもらえるようにしてはどうか。</p>		

(3) 平成の初め頃から始まった桜づつみロードの桜オーナー制度によって、延長約7km、650本以上の桜並木ができて非常に見応えのある施設となりつつある。花見の時季に町内外にいるオーナー家族などに案内を出し、桜イベントを催して観光活性化の一助とする考えはないか。

質問の相手

町 長、教育長

通告順位	4	通 告 者	2 番 横 山 聖 代 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 児童・生徒の登下校の安全対策について 先月に隣町で声かけ事案が発生している。その前には新潟で小二女児殺害事件が起きていたこともあり、保護者の不安も大きい。小学生及び中学生の登下校の安全対策はどうなっているか。また課題はあるか。</p> <p>2. 移住・定住について 平成29年に本町に来町して頂いた観光客・交流人口は111万人を超え、町長が平成13年に立上げられたスローガン『来なっせ100万人』を見事達成された。これもひとえに、官民一体となった様々な取り組みの賜物である。しかし、都市部への流出・晩婚化や少子化の影響もあり一貫して人口の減少傾向が続いている。今後、単独自治体として残っていくためにも、新たな移住・定住策が必要となってきた。</p> <p>(1) ホームページで検索する方が情報を漏れなく拾えるように、移住希望者の専用ページを作ってはどうか。</p> <p>(2) 移住者専用のパンフレットを作成してはどうか。併せてホームページにアップできないか。</p> <p>(3) さらなる転出抑制及び転入促進策として、高校生の通学費の助成や、子ども福祉医療費制度を高校生まで拡充できないか。</p> <p>(4) 長野県小布施町にある小布施移住サポート会議のような民間を巻き込んだ移住者支援組織の設立は考えられないか。</p> <p>(5) 郷土愛を再認識してもらうため、40歳で2度目の成人式を開催するのはどうか。名付けて『成人式バイ』。</p>		

通告順位	5	通 告 者	6 番 百 武 辰 美 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 町道の維持について</p> <p>波佐見町は佐賀県との県境に位置し、主要地方道2路線と一般県道4路線の計6路線の県道がある。それに接続する町道も多く存在し、これからの維持管理には多額の経費がかかると思われる。</p> <p>道路維持に関して次の事項を質問する。</p> <p>(1) 折敷瀬郷から湯無田郷までの町道波佐見縦貫線は、県の事業で整備された。経年劣化による路面の痛みが進行しており、今後の通行に支障がきたすものと思われる。改修工事の計画はしているのか。また、どの程度の工事費になるのか。</p> <p>(2) 例年、道路維持に充てられる予算は限られており、工事個所の優先順位についてはある程度開示し、改修が遅れる地域の皆さんに御理解をいただく必要があるのではないか。</p> <p>2. 職員の待遇について</p> <p>本年4月25日に東洋経済オンラインで、「最新公務員年収ランキング」ワースト500という記事が配信されている。総務省「平成28年地方公務員給与の実態」に基づいたもので、波佐見町の職員給与の年収ランキングはワースト75位で、全国1,788団体の中でかなり下位に位置しているようだ。</p> <p>職員の待遇について次の事項を質問する。</p> <p>(1) 波佐見町の職員の年収は、他の自治体と比べてどの程度低いのか。</p> <p>(2) 諸手当にはどんなものがあるのか。</p> <p>(3) これからの優秀な人材獲得のため、また、現在勤務している職員の士気向上のためにも、今以上の待遇改善が急務ではないか。</p>		



通告順位	6	通告者	4番 北村 清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 人口減少対策について</p> <p>人口減少は日々の生活においては、実感しづらい「静かなる危機」と言われているが、長崎県内においては、過疎化が進行し、各種業界における担い手不足など現実身を感じる。少子・高齢化により、社会保障費の増など、社会経済への影響も現れている。本町全体においては、大幅な人口減少は少ないが、地域間における減少率には差が見られる。</p> <p>(1) 本町ではどのような施策を推進しているのか。</p> <p>(2) 子ども、小学生、中学生、高校生の医療費は無料化できないか。</p> <p>(3) 定住奨励金、住宅性能向上リフォーム支援事業費補助金の現状はどうなっているか。</p> <p>(4) 浄化槽設置整備事業の周知はどのように行っているか。</p> <p>2. 波佐見・有田インター駐車場の有料化について</p> <p>過去において、有料化に関する条例が提案されたが、制定には至らなかった。</p> <p>(1) 駐車場の利用についての取り決め（要綱など）があるのか。</p> <p>(2) 案内板の設置は行わないのか。</p> <p>(3) 前回の条例制定の上程以降、有料化の検討は行ったのか。</p> <p>3. 町長選挙出馬について</p> <p>(1) 先日、出馬表明を行われたが、6期目で目指すものは。</p> <p>(2) 新庁舎建設や窯業及び農業後継者の育成はどうするのか。</p> <p>(3) 人口減少対策はどのように取り組むのか。</p>		

通告順位	7	通 告 者	1 2 番 堀 池 主 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 町長の視察と出張について</p> <p>(1) 町長の海外出張に伴う職務代理の取扱いに関する規定はどうなっているか。</p> <p>(2) 町長は、定例会中に全国町村会正副会長会(東京)へ出張されているが、事故などが発生した場合、本会議の対応はどうするのか。また、問題はないか。</p> <p>(3) 県の町村長会は、年に何回開会されているのか。</p> <p>(4) 議会（議員）へのこれらの報告はどのように思っているか。</p> <p>2. 教育行政について</p> <p>(1) 新潟市で7歳の女兒が殺害される痛ましい事件があったが、児童・生徒の登下校時の安全指導などはどうなっているか。</p> <p>(2) この事件後、保護者やP T Aで協議をされたか。されたとしたら、どんな内容か。</p> <p>(3) 携帯電話、スマートフォンの児童・生徒の家庭などでの使用の仕方について、調査をされているか。</p> <p>(4) 各家庭では、ほとんど洋式のトイレだと思うが、各学校のトイレの総数と、その内、洋式は何箇所か。また、今後の改善と計画はどうなっているか。</p>		

通告順位	8	通 告 者	5 番 脇 坂 正 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 「旧波佐見町立中央小学校講堂兼公会堂」（以下「施設」という。）について  施設は、5月末に改修工事や耐震工事が完了した。6月24日には記念コンサートが予定されているが、今後、保存・利用・活用をどう図るのか。供用開始に伴い、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 施設の名称は、今まで通りか。変更するのか。  (2) 施設の所管はどこか。また、管理・運営は直営なのか。別の方法か。  (3) 利用・活用の形態及び使用料の徴収はどうするのか。  (4) 総合文化会館との棲み分けは行うのか。  (5) 条例、規則などの制定はどうするのか。  (6) トイレや駐車場、庭園などの外構工事はどうするのか。  (7) 案内板や説明板の設置などはどうするのか。  (8) 今後の使用申し込み件数はどの位あるか。</p> <p>2. 河川立木などの伐採及び浚渫について  川棚川やその支流の河川は、柳を始めとする立木が無数に繁茂している。堤防の高さを超えた木々も数多く、更に土砂の堆積も膨大である。このままでは、大雨時には木々に流木が引っ掛かり、堰となって洪水の要因になりかねない。また、ビニールなどが枝にからまって、美観上も大きなマイナスである。</p> <p>長野川や日見須川では県・町で一部工事が実施されたが、立木は年々成長が著しく、遅くなればそれだけ経費も増大することが考えられる。</p> <p>町政報告会などでも、多くの要望があったと聞いている。一日も早い工事が望まれるが、どのように対応するのか。</p>		

通告順位	9	通 告 者	3 番 三 石 孝 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見陶器まつりについて</p> <p>本年も盛会に開催された第60回陶器まつりは来場者数329,000人で過去最高の盛り上がりを見せた。しかしながら、一部おもてなしが不十分なため、多くのお客様からおしかりを頂いている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) メイン会場におけるトイレの対応（数量・案内）の現状と今後の対策をどのように考えているか。</p> <p>(2) 雨天時のテント排水対策は十分に行われているか。</p> <p>2. 自治会活動における助成制度について</p> <p>町内の各自治会は、地方自治の基本である住民自治としての活動母体である。その自治会は団体自治である行政や議会とは切っても切れない存在であり、その自治体の充実、住民自治の充実が不可欠であるといわれている。</p> <p>そこで、次のことを問う。</p> <p>(1) 現在実施されている自治会への助成・補助制度などはどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 各自治会への助成額の算出根拠・基準などはどのようになっているか。</p> <p>(3) 各自治会は人口や世帯の減少に伴い自治会活動予算の減少も懸念されているが、今後どのような対策を考えているか。</p>		